

Q 不正にまみれた
教科書採択問題

杉田 恭之 議員



A 本市の採択は公正・適正

質問一 本市の小・中学校における採択教科書の出版会社中、謝礼をしていた出版会社は。

二 教育長としてどう思うか。

三 本市での謝礼の事案は。

四 採択教科書をこのまま使うのか。

五 今後の教科書採択の行方は。

六 望ましい出版会社は。

答弁一（教育長） 本市で採択さ

れている教科用図書の出版会社では、光村図書出版株式会社、教育出版株式会社、東京書籍株式会社、株式会社新興出版社啓林館、株式会社教育芸術社、日本文教出版株式会社

の6社である。

二 教科書は極めて公共性が高い。採択に疑念を持たれるような問題

が起きたことは、大変遺憾である。

三 市内各学校において該当事案



はない。

四 文部科学省による検定に合格した教科用図書の中から適正、公正に選定されたものなので、そのまま使用する。

五 文科省の示す再発防止方針を踏まえるとともに、第10採択地区教科用図書採択協議会要綱にのっとり、公正かつ適正に採択する。

六 市教育委員会が採択した教科用図書は、各教育委員がしっかりと研究を行い、議論を重ねた結果のもの

Q 子どもの読書活動と指定管理

松尾 孝彦 議員



A 読書活動推進計画を推進し、読書環境を整備する

質問一 取組状況と課題について

二 読書通帳の導入について

答弁一（教育長） 第2次鶴ヶ島

市子ども読書活動推進計画を推進し、家庭、地域、学校等での読書活動の推進及び読書活動に関する情報の発信・連携と整備を進めている。

図書館でのブックスタート事業や児童書の充実、学校図書館司書の全校配置、図書館司書と学校図書館司書との連携等により、児童・生徒の読書活動を推進している。また、学校図書館資料のデータベース化や学校図書館と市立図書館のネットワーク化などにも取り組



小学校の学校図書館

んでいる。就学前児童には、中央図書館や各分室でのおはなし会、読み聞かせなどを行っているが、

保育園、児童館等との連携による読書環境の整備が課題である。

図書館における指定管理者制度導入後も、読書に親しめる、本と触れ合える環境づくりに努める。

二 読書通帳は、読書への意欲喚起や子どもと本を結び付ける手段として効果があると期待されている。読書冊数以外の効果の出し方についても検討し、本と子どもたちを結び取る組を行っていく。

◎**その他の質問** 子どもの運動能力について